

日農マツタブジャンボ

[クミルロン・テニルクロール剤]

農林水産省登録 第21922号

有効成分 クミルロン…18.0%
テニルクロール…3.0%

性状 類白色錠形（厚さ1.8cm、直径5cm、重量50g）

安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）
×20 RACコード：除草[0][15]

危険物：- 有効年限：5年 包装：（50g×10）

特長

- 投げやすい発泡性固形タイプのジャンボ剤で、投げ込み施用と水口施用が可能です。
- 優れた拡散性を示し、風の影響を受けにくくなっています。
- 広い殺草スペクトルと、優れた残効性で、SU抵抗性雑草にも効果を発揮します。

効果、薬害等に関する注意事項

- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきる。
- 開封後はすみやかに使い切る。
- 投げ入れ処理の場合は、以下を注意する。
 - 1)所定量を水田に均等に投げ入れる。
 - 2)散布に当たっては、水の出入りを止めて5cm程度の湛水状態で投入する。
 - 3)移植前に散布する場合は代かき直後の甚だしい濁水時はさける。
- 本剤は雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの1葉期までに散布する。なお、ホタルイ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカに対しては、発生前から発生始期まで、クログワイに対しては発生前が本剤の散布適期である。
- クログワイは、発生期間が長く、遅い発生のものには十分な効果を示さないので、必要に応じて有効な後処理剤との組合せで使用する。
- コナギの多発田では効果が劣ることがあるので、コナギに有効な薬剤と組み合わせて使用する。
- 苗の植付けが均一になるよう、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行う。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行う。
- 水口施用の場合は入水時に本剤を重ならないように施用し、流入水とともに水田全面に拡散させる。処理後田面水が5～6cmの湛水状態に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意する。
- 移植後に散布する場合は本剤処理後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm）を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。
- 以下の条件下では薬害を生じるおそれがあるので使用をさける。
 - 1)砂質土壌の水田及び漏水田（減水深2cm／日以上）
 - 2)軟弱苗を移植した水田。
 - 3)極端な浅植えの水田及び浮き苗の多い水田。
- 稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので使用しない。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用する。特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項

- 濡れた手で扱わない。
- 散布の際は手袋などを着用する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

■ 水産動植物に対する注意事項

- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。
- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう注意して使用する。
- 散布後は水管理に注意する。
- 空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

適用内容

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	クミロンを含む農薬の総使用回数	テニルクロールを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ クログワイ	移植直後～ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで	5～10個 (250～500g) /10a	1回	水口施用	2回以内	2回以内
		植代後～移植前7日 又は 移植直後～ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで			水田に投げ入れる。		

製品写真



最新の登録内容はこちら

